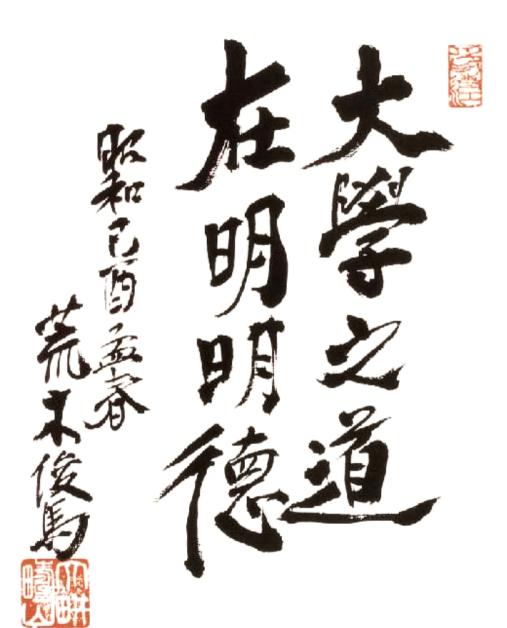
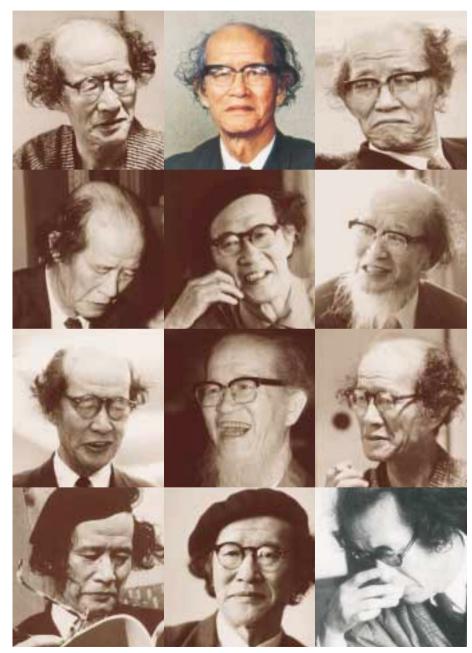
松学念和流

充灰的



学祖荒木俊馬先生は、学生とともに、学び、遊び、議論を戦わせ、泣き、笑い、そして大いに酔った





ロンドンでBBCの放送に出演(1976.5)



ケンブリッジ大学で天文学者と (1976.5)



ワイツゼッカー博士夫妻とともに (1974.11)

世界の頭脳と



アポロ打ち上げ視察 (1975.7、ケネディ宇宙基地) 白いお髭が素敵な荒木先生





歴史学のトインピー博士夫妻とともに (1967.11) ハーマン カーン博士 (中央)を囲んで。右端は若泉 敬・本学教授 (1970.4)

建学の心を映した時代「教学之源流」に



第一回入学式は京都会館で挙行。学舎は建設中だった



第二回入学式での宣誓書署名。詰襟の学生服の眼が学生生活への希望に輝く



「諸君、ありがとう。君たちとともに、この大学は生まれ育った。諸君は開拓者だ。 第一回卒業式で語りかける荒木先生。いま、卒業生は10万人を超した

平安京の静けさをたたえる神山に 学ぶ熱気が渦巻いた



人類の歴史を解き明かすアーノルド トインピー博士来学。学生、教職員が講演会場にあてられた体育館 (現在の10号館のところ)を埋め尽くした





開学直前の本館と本学周辺(上) 開学式会場(1号館)はコンクリートの 地肌剥き出しのままだった(左)

京都産大の 揺りかご時代



いまの正門入り口付近 当時の通学のパス乗り場